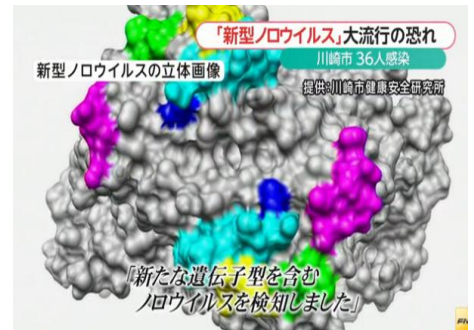


新型ノロウイルスによる食中毒が大流行か？

感染性胃腸炎を引き起こすノロウイルスで、今冬は遺伝子に変異した新型が流行しそうです。別の変異ウイルスが見つかった2006・12年は大流行しており、9月2日、国立感染症研究所は「新型がこのまま広がれば、過去最悪だった06年をしのぐ恐れもある」として「**2015/16シーズンは牡蠣などが汚染源の新型ノロウイルスによる食中毒（感染性胃腸炎）が大流行する可能性が高い**」と警告を発しました。

人に感染するノロウイルスは、遺伝子配列の違いで主に31種類あります。2000年以降に流行した中で最も多く検出されたのが「GⅡ・4型」です。ノロウイルスは度々変異しており、大流行した06年と12年は「GⅡ・4型」の変異でした。

今回は「GⅡ・17型」が変異。国立感染症研究所と共同で昨年10月から半年間、全国の患者のウイルス約2100株を調べたところ、今年1月から新型が急増し、2月以降はほとんどが新型になり、主流が「GⅡ・17型」に置き換わったとみられています。今年起きた飲食店での集団食中毒でも、「GⅡ・17型」が原因と判明しました。



免疫がないため予防が大切！

ノロウイルスは食品や手を介して経口感染します。

【感染対策】

- ①食品は十分に加熱処理を行う
- ②流水と石鹸による手洗いの励行
感染者の汚物を処理した後は勿論、食事の前、トイレの後、調理前後などの手洗いも忘れずに行いましょう。
- ③正しい消毒
ノロウイルスの消毒にはピューラックスを使用します。
- ④正しい防護具の着用
マスクの着用も忘れない。



* 詳細はマニュアルを参照してください。

感染したかな？と思ったら

ノロウイルスに有効な特効薬はありません。最も重要な事は水分補給により脱水を防ぐことです。

安易な下痢止め薬の服用は、ウイルスの排泄を遅らせるので注意しましょう。



検査室よりお知らせ！

簡易検査キットによるノロウイルスGⅡ・17型の検出調査を行った結果、十分なウイルス量があるにもかかわらず陰性になりやすいという報告がありました。

今シーズンは、**検査で陰性だったので大丈夫とは言えない**状況です。**臨床症状を十分に考慮し、適切な対応・対策**をお願い致します。



感染制御室からのお願い

これからの季節、インフルエンザやノロウイルスなどの感染症が多くなってきます。就業制限が必要な感染症に職員が罹患した場合は、**所属長より感染制御室へ報告**をお願いいたします。

★おまけ★

家庭での消毒薬の作り方

ペットボトル500mlを使用した場合、吐物・便の消毒にはキャップ2杯分、環境消毒にはキャップ1/2杯分のハイターなどを入れてから水を入れて全量500mlにする。